

おびひろこども未来プラン

令和 5 年度 進捗状況報告書

令和 6 年 8 月

帯広市市民福祉部こども福祉室こども課

目 次

令和 5 年度 目標値の進捗状況	1
------------------	---

令和 5 年度 おびひろこども未来プラン 進捗状況総括表	2
------------------------------	---

令和 5 年度 基本施策の進捗状況

I 子どもを守る

1	子どもの権利の尊重	3
2	子どもの虐待防止の推進	4
3	子どもの健康づくりの推進	5
4	子どもの安全な環境の確保	6

II 安心して子どもを産み育てることができる

1	安心して妊娠・出産ができる環境の確保	7
2	相談支援体制の確保	8
3	子どもの発達・生活の支援	9
4	わかりやすい情報発信の推進	10

III 子どもや子育て家庭をみんなで支える

1	仕事と子育ての両立の支援	11
2	幼児教育の促進	12
3	子育てを地域で支える仕組みづくりの推進	13
4	子育て家庭への経済的な支援	14
5	ひとり親家庭への支援	15

IV 子ども自らの健やかな成長を支援する

1	子どもの体験活動の推進	16
2	青少年の社会参加の支援	17
3	青少年の健全育成活動の推進	18

令和5年度 目標値の進捗状況

1 計画の目標値の進捗状況

目 標 項 目	基準値	実績値					目標値
	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	92.3%	91.9%	91.8%	91.3%	90.0%	88.8%	93.0%
			↘	↘	↘	↘	
保育所などの 待機児童数 (4月1日現在)	5人	8人	4人	3人	0人	0人	0人
			↗	↗	↗	→	
子育て支援に関わる 支援活動者数	6,886人	6,178人	1,218人	1,287人	2,339人	3,394人	7,111人
			↘	↗	↗	↗	

2 目標値に対する進捗分析

- ・「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は88.8%であり、目標を達成しませんでした。
- ・「保育所などの待機児童数」は、保育所の改築を行い、認可保育所の0～2歳児の利用定員を拡大するなど、低年齢児の保育ニーズに対応した受入枠の拡大を進めたことなどにより、前年に引き続き、目標を達成することができました。
- ・「子育て支援に関わる支援活動者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していましたが、感染症法上の分類が5類に移行して以降、開催方法を工夫しながら事業を実施することで支援活動者も増加しています。

市では、妊娠や出産、子育てに対する不安や悩みなどの相談対応を行っているほか、企業における育児休業の推進や、親同士の交流を促進する地域子育て支援センター、会員相互による子育ての援助活動を行うファミリーサポートセンター事業など地域全体で子育て支援を支える取り組みなどを進めています。一方で、この地域で子育てをしたいと思わない人は、この地域で子育てしたいと思う人に比べ、「赤ちゃんとの生活が楽しい」、「育児への困り感がない」と答えた割合が低く、子育てに孤立や不安を感じ、相談できずに悩んでいる人がいるものと捉えています。

子育て世帯をとりまく環境の変化などを注視しながら、妊娠初期から子育て期に至るまでの切れ目のない支援に取り組むため制度の見直しも行いながら、子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があります。

令和5年度 おびひろこども未来プラン 進捗状況総括表

基本目標	基本施策	進捗状況
Ⅰ 子どもを守る		
	1 子どもの権利の尊重	B
	2 子どもの虐待防止の推進	B
	3 子どもの健康づくりの推進	B
	4 子どもの安全な環境の確保	B
Ⅱ 安心して子どもを産み育てることができる		
	1 安心して妊娠・出産ができる環境の確保	A
	2 相談支援体制の確保	B
	3 子どもの発達・生活の支援	B
	4 わかりやすい情報発信の推進	A
Ⅲ 子どもや子育て家庭をみんなで支える		
	1 仕事と子育ての両立の支援	B
	2 幼児教育の促進	B
	3 子育てを地域で支える仕組みづくりの推進	B
	4 子育て家庭への経済的な支援	B
	5 ひとり親家庭への支援	B
Ⅳ 子ども自らの健やかな成長を支援する		
	1 子どもの体験活動の推進	A
	2 青少年の社会参加の支援	B
	3 青少年の健全育成活動の推進	B

施策の進捗状況の割合	項目数	割合
A 順調に進捗している	3	18.8%
B 概ね順調に進捗している	13	81.3%
C さらなる進捗が必要となっている	0	0.0%

～施策の進捗状況区分の考え方～

A 順調に進捗している	例年通りの取り組みに加え新たな取り組みを実施などし、十分成果が現れている
B 概ね順調に進捗している	概ね例年通りの取り組みを実施できた【基本】
C さらなる進捗が必要となっている	例年通りの取り組みが実施できなかった コロナの影響により実施できなかった事業を含

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	I 子どもを守る	担当課	地域福祉課、市民活動課 障害福祉課、生活支援第1・2課 こども課、子育て支援課 学校地域連携課、学校教育指導課
	基本施策	1 子どもの権利の尊重		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 人権の啓発活動の推進	・帯広人権擁護委員協議会への支援 ・帯広市地域自立支援協議会の差別解消部会の開催（開催回数1回） ・障害者虐待防止ネットワーク会議の開催（開催回数1回） ・「子どもの権利条約」に係る出前講座の実施（24回、840人） ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催（代表者会議1回）
(2) 子どもの相談体制の確保	・ヤングテレホン相談の実施（324件） ・教育相談センターによる相談業務（15件） ・こころの教室相談員、家庭訪問相談員、スクールソーシャルワーカーによる各学校での相談業務（4,097件）
(3) 子どもを守る連携活動の推進	・子ども・若者支援地域協議会の開催（代表者会議1回、実務者会議2回、個別ケース検討会議3回）
(4) 子どもの貧困対策の取り組み	・子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯1,900世帯、ひとり親世帯以外776世帯） ・価格高騰重点支援給付金（7万円給付金・こども加算）

2 実績に対する考え方

「子どもの権利条約」に係る学校への出前講座は、近い将来、子育てを経験することになる高校生や大学生、これから保育士になる方に対し、子どもが享受すべき人権に対する理解促進を図るため、対象者別にわかりやすい講座になるよう取り組んでいます。 ヤングテレホン相談では、ニートやひきこもりなど困難を抱える若者の自立を支援するため、相談業務を行っています。 子どもを守る組織づくりでは、定期的に関係機関や団体等と会議を開催するほか、必要に応じて個別ケース検討会議を開催するなど、速やかな対応と連携協力を進めています。 ヤングケアラーの相談窓口を明確化し、ヤングケアラー本人やその家族、ヤングケアラーに気づいた周りの人からの相談を受け付けています。 子どもの貧困対策では、食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得世帯の子育て世帯や住民税均等割非課税世帯で18歳以下の児童を扶養している世帯に対し給付金を支給しました。これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和 5 年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	1 子どもを守る	担当課	子育て支援課
	基本施策	2 子どもの虐待防止の推進		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和 5 年度の主な実績
(1) 子どもの虐待防止の推進	・ 帯広市要保護児童対策地域協議会の開催 (代表者会議 1回、個別ケース検討会議48回) ・ 児童虐待防止啓発カード 2 万枚作成、厚労省作成のポスターと併せて配布 ・ 児童虐待防止パネル展の開催 (11月 2 日～11月 24 日) ・ オレンジリボン児童虐待防止推進キャンペーン (11月1日～11月30日)

2 実績に対する考え方

帯広市要保護児童対策地域協議会における関係機関との連携協力のほか、児童虐待防止推進月間等の機会を利用した啓発活動を実施しています。 また、虐待の恐れや養育の心配がある世帯について、ケース検討会議を開催して支援体制の確認をするなど、関係機関と連携を図り、児童虐待防止に取り組んでいます。 こうした取り組みが地域の児童虐待への関心の高まりや関係機関への通報につながるなど、児童虐待の未然防止や早期発見に一定の効果をあげています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	1 子どもを守る	担当課	こども課、健康推進課 農政課、学校教育課 学校給食センター
	基本施策	3 子どもの健康づくりの推進		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 子どもの健康づくりの推進	・乳幼児健康診査の実施（受診者延3,893人） ・新生児聴覚検査の助成（736件） ・予防接種の周知啓発 ・定期接種の実施（接種者延べ26,972人） ・中3・高3のインフルエンザ予防接種費用助成の実施（接種者延べ724人） ・フッ化物塗布受診者（4,446人） ・フッ化物洗口（中止） ・帯広の森市民農園 学童農園（市内22団体・1,677人）
(2) 食から学ぶ健康づくりの推進	・公立保育所におけるふるさと給食の提供（4回） ・小中学校におけるふるさと給食の提供（5回） ・保護者、児童向け食育講座の実施（7回、87人） ・栄養教諭による食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるための給食指導の実施 ・栄養相談の実施（495人） ・親子、パパと子の料理教室の実施（23回、47人） ・離乳食教室（育児教室）の実施（12回、178組） ・動画施設見学として学校給食センターの地産地消の取り組みなどについてYouTube配信

2 実績に対する考え方

子どもや子育て家庭の健康づくりに向けて、各種健診を行っているほか、予防接種の周知・啓発を図っています。 新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、乳幼児健診や教室を継続して実施し、育児に関する情報提供や母子の健康状態等を把握しながら相談対応を行いました。また、令和5年度からは、新生児聴覚検査に係る費用の助成、3歳児健診での視覚検査など異常の早期発見に繋げる取り組みを強化しています。 乳幼児健診での相談においては、地場産の食材を使用した料理等について情報提供するなど、乳幼児期の食習慣を考える機会を提供しています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	I 子どもを守る	担当課	危機対策課、消防課、市民活動課、こども課、子育て支援課、商業労働課、土木課、みどりの課、学校地域連携課、学校教育指導課
	基本施策	4 子どもの安全な環境の確保		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 子どもにやさしい都市基盤の整備	・町内会の防犯灯新設、更新の支援（67灯）、町内会の防犯灯維持費用の支援（16,339灯） ・信号機設置等の要望活動の実施、交通安全注意喚起看板の設置 ・幹線道路や生活道路における歩道の整備、通学路などの歩道の再整備 ・帯広市通学路安全対策連絡協議会の開催（2回）、関係機関による危険箇所合同点検の実施（11か所）
(2) 安全な子どもの遊び場の確保	・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の更新（23公園） ・地域子育て支援センターの運営（施設数6か所） ・市民活動交流センターの設置・運営
(3) 子どもの安全を確保する体制の整備	・子ども110番の家の設置（981箇所） ・通学路の安全点検 ・通学路安全対策連絡協議会の運営 ・情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の運用（登録率：99.7%）
(4) 子どもの安全教育の推進	・交通安全教室の開催（274回、22,916人） ・登下校時の交通安全誘導の実施（帯広小、花園小、大空学園義務教育学校の通学路において実施） ・消費生活に関する講座、講演会の開催 ・救命・救急講習の実施 ・避難訓練の実施
(5) 被害防止を図る啓発活動の推進	・非行防止啓発事業の実施 ・社会環境改善活動の実施 ・有害情報防止対策啓発事業
(6) 街頭巡回指導等の推進	・街頭巡回指導の実施

2 実績に対する考え方

町内会からの要望を受け、新興住宅地等に新たに防犯灯の設置を行うなど、地域の暗がり解消を図っています。 既存公園の遊具等の更新を行い、安全な子どもの遊び場の拡充を図っています。 「子ども110番の家」の幟を設置し、子どもの登下校時等に身に迫る危険や犯罪などから守る一定の抑止効果を発揮しています。 市内全小中学校で、PTAや地域ボランティアなどによる登下校時の見守り活動が行われており、活動に対する支援を行っているほか、学校や地域、関係機関とともに、「交通安全」、「防犯」、「防災」の観点で、通学路の危険箇所の点検を行うことで、登下校の安全確保を図っています。 保護者や教職員に対し、不審者情報や災害情報などを子ども安全ネットワークにより迅速・正確に提供し、児童生徒の一層の安全体制の充実を図っています。 指導協力員の協力を得ながら街頭巡回を実施しているほか、北海道青少年健全育成条例に基づくカラオケ店、ゲームセンターなどへの立入調査や非行防止の啓発活動などに取り組んでいます。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅱ 安心して子どもを産み育てることができる	担当課	こども課、子育て支援課、健康推進課、国保課
	基本施策	1 安心して妊娠・出産ができる環境の確保		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 子育て世代包括支援センター機能の推進	・ 子育て世代包括支援センター - 妊娠届出時のセルフプラン作成数 949件 - 子育て期 相談件数 991件
(2) 安心して妊娠・出産ができる環境の確保	・ 助産施設入所費の援助 (13人) ・ 母性相談の実施 (相談件数延1,628件) ・ 訪問指導の実施 (訪問件数延2,144件) ・ 妊婦健康診査の実施(受診者延10,633人) ・ 両親教室の開催(参加者延212組) ・ すこやか親子教室の開催(参加者延691組) ・ 妊娠中、産後早期の妊産婦への支援 (産後ケア事業延48件、産前産後サポート事業363件) ・ 不妊治療費助成 (生殖補助医療費 申請者延5件、先進不妊治療費 申請者延146件) ・ 不育症治療費助成 (0人) ・ 母子健康手帳アプリの導入 (総登録数2,288件) ・ 国保加入者に対する出産育児一時金の支給 (95件) ・ 新生児聴覚検査の助成 (736件) ・ 出産・子育て応援給付金の支給 (2,285人)

2 実績に対する考え方

妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない支援のため、子育て情報のタイムリーな通知やこどもの成長記録を管理できる母子健康手帳アプリ「子育てアプリおびモ」を導入したほか、母性相談室や乳幼児健診、家庭訪問等を通じて、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、個々の状況に応じた必要な支援を継続的に実施しています。 また、子育て世代包括支援センターにおける、子育て相談、発達相談、児童虐待防止相談など、子どもにかかわるさまざまな相談対応や、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型の相談支援、経済的支援を一体的に実施しています。 これらを勘案し、「順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	A

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅱ 安心して子どもを産み育てることができる	担当課	こども課、子育て支援課 健康推進課
	基本施策	2 相談支援体制の確保		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 子育て世代包括支援センター機能の推進【再掲】	・子育て世代包括支援センター 妊娠届出時のセルフプラン作成数 949件 子育て期 相談件数 991件 ・乳幼児健康診査の実施(受診者延3,893人) ・訪問指導の実施(訪問件数延2,144件) ・すこやか親子教室の開催(参加者延691組)
(2) 地域子育て支援センター等の機能の推進	・地域子育て支援センターの運営(施設数6箇所、利用件数25,597件) ・地域子育て支援センター支援事業(参加組数3,988組) ・ファミリーサポートセンター事業の実施(会員数818人、援助活動件数2,167件) ・すこやか親子教室の開催(参加者延691組)

2 実績に対する考え方

育児不安の軽減を図るため、乳幼児健診や家庭訪問等を通じて、家庭の状況に合わせた支援を実施しています。 また、子育て世代包括支援センターでは、子育て相談、発達相談、児童虐待防止相談の窓口を設け、子どもにかかわるさまざまな相談に対応しています。 乳幼児家庭にとって身近な相談場所である地域子育て支援センターでは、子育ての不安や、身近に相談相手がいない保護者等に対して、ニーズに合わせた子育て講座を開催するなど、きめ細やかな対応を行っています。 このほか、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応や必要な支援につなげる伴走型の支援や、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンター事業などにも取り組んでいます。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅱ 安心して子どもを産み育てることができる	担当課	障害福祉課、こども課、子育て支援課 健康推進課、学校教育課
	基本施策	3 子どもの発達・生活の支援		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 健やかな発達の支援	・ 帯広心身障害者（児）育成会の活動支援（企画部会2回、理事会2回、福祉大運動会の実施（参加者166人）） ・ 障害児通所支援（1,394人）、発達支援センターの運営（延べ相談人数81人）、こども発達相談室の運営（発達相談738件）、ことばの教室の運営（延べ相談人数210人）、肢体不自由児機能訓練事業の実施（参加組数 親子92組）、こども地域生活支援会議の開催（開催回数15回）、難聴児の補聴器購入への支援（助成件数7件）、生活支援ファイルつなぐとの作成・活用に向けた助言指導 ・ 特別支援教育支援員の配置（特別支援教育補助員68人、生活介助員31人） ・ 特別支援保育の実施（223人） ・ 乳幼児健康診査の実施（受診者延3,893人） ・ すこやか親子教室の開催（参加者延691組）
(2) 生活の支援	・ 特別児童扶養手当（553人） ・ 各種障害福祉サービスの提供（障害福祉サービス46人、障害児通所支援1,394人、障害者地域生活支援348人） ・ 障害者高等教育補助（89人） ・ 特別支援教育就学奨励費（支給者数：小学校176人、中学校56人） ・ 障害児福祉手当（77人）

2 実績に対する考え方

乳幼児健診やこども発達相談室において、発達に心配のある子どもの相談などに対応するとともに、子どもがより適切な支援を受けることができるよう、子どもの状態や受けているサービスなどを書き記し関係者で共有する「生活支援ファイルつなぐと」などの取り組みを進めています。また、障害のある子どもが安心して地域生活を営むことができるよう、障害福祉サービスの提供や特別児童扶養手当の支給などの取り組みを行っています。 特別支援保育児童認定について、保育所のほか、認定こども園に対しても、対象児童の認定を行い支援しています。 学校においては、特別支援教育の充実のため、特別支援教育補助員や看護師資格を有する生活介助員を配置したほか、特別支援教育就学奨励費や障害者高等教育補助の支給等により、特別支援学級や特別支援学校高等部などへ通う児童生徒の保護者に対し、経済的な負担の軽減を図っています。 また、保育・幼児教育施設においては、特別な支援を必要とする子どもの受入れを実施しています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅱ 安心して子どもを産み育てることができる	担当課	広報広聴課、子育て支援課
	基本施策	4 わかりやすい情報発信の推進		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) わかりやすい情報発信の推進	・ 広報おびひろの発行（月1回・71,000部/月） 6月号「身の回りにいませんか？ヤングケアラー」「子育て生活支援特別給付金を支給」 7月号「雨の日でも楽しめる！室内の子どもの遊び場」 8月号「ひとり親家庭等へ支援」 9月号「子育てアプリおびモ」 10月号「保育所・児童福祉センター・幼稚園の入所申込開始」「地域で子育てをサポート」 11月号「あなたしか気づいてないかもそのサイン 11月は児童虐待防止月間です」 1月号「子どもの情報を伝える 生活支援ファイル「つながっと」」 2月号「子どもの医療費が1割負担に下がります」「価格高騰重点支援給付金を支給します（こども加算分）」 4月号「児童会館60周年」 ・ ホームページ（公開ページ数8,019・アクセス数 6,287,586） ・ SNS等登録者数（156,571件） - LINE登録者数30,329件のうち、子育て情報受信希望者5,527件 ・ 市長記者会見（10回） 6月1日「子育て世帯生活支援特別給付金について」 7月28日「母子手帳アプリのサービス開始について」 1月11日「価格高騰重点支援給付金について（こども加算分）」 ・ WEB動画「児童会館」 ・ SNSを通じ、必要に応じて子育て情報の発信

2 実績に対する考え方

広報紙や市長記者会見、ホームページやSNS、動画などの様々なツールを活用し、子育て情報を含めた行政情報の積極的な情報発信に取り組んでいます。 また、LINEをはじめとしたSNS等登録者数が増加している中、LINEのセグメント配信などの効果的なツールを活用しながら、ニーズに合わせた適時・適切な情報発信に努めています。 これらを勘案し、「順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	A

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅲ 子どもや子育て家庭をみんなで支える	担当課	市民活動課 こども課、子育て支援課 商業労働課、学校教育指導課
	基本施策	1 仕事と子育ての両立の支援		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 保育所の安定的な保育サービスの提供	・ 公立保育所の運営、私立保育所へ業務委託 ・ 乳児・延長・一時・休日保育の実施、病後児保育の実施 ・ 待機児童対策事業の実施 ・ 保育士に対する研修会実施・支援、保育士職場就労支援セミナー（参加者11名）
(2) 保育所の施設環境の整備	・ 私立保育所の施設整備支援（あやめ保育所）
(3) 児童保育センターの安定的な保育サービスの提供	・ 児童保育センターの管理運営 ・ 支援員に対する研修会実施・支援
(4) 児童保育センターの施設環境の整備	・ 児童保育センターの施設整備（分室開設等）
(5) 保育と教育の連携促進	・ 幼稚園教諭・保育所保育士合同研修（中止） ・ 幼稚園・保育所連携促進事業 ・ 幼・保・小連携研修交流（中止）
(6) 男女がともに働きやすい環境づくりの推進	・ 男女共同参画セミナー、男女共同参画講座開催 ・ 事業所雇用実態調査時における子育て応援事業所促進奨励金、ワーク・ライフ・バランスに関する資料の配布 ・ 男女共同参画週間パネル展開催 ・ 男女共同参画情報誌発行
(7) 子育てにやさしい企業の普及促進	・ 子育て応援事業所促進奨励金交付 ・ 子育て応援事業所の制度周知

2 実績に対する考え方

保育園改築による保育枠の確保や定員の弾力的運用などにより、需要の高い低年齢児保育に対応するとともに、延長・休日・一時保育など、保護者の多様なニーズに対応した教育・保育の充実に取り組んでいます。また、子どもが安全・安心に過ごすことができるよう、施設の機能維持に必要な修繕等を実施しています。 子ども・子育て支援事業計画の確保方策に関する取り組みは順調に進んでいますが、低年齢児の保育需要が近年高く、待機児童が発生しています。 事業所雇用実態調査時における子育て応援事業所促進奨励金、ワーク・ライフ・バランスに関する資料の配布や、男女共同参画週間パネル展などを通して、男女がともに働きやすい環境づくりに取り組みました。また、男女共同参画講座は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から行っているオンラインと併用での講座開催が定着し、参加者が増加しています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅲ 子どもや子育て家庭をみんなで支える	担当課	こども課、学校教育指導課
	基本施策	2 幼児教育の促進		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 幼児教育と預かり保育等の促進	・私学助成幼稚園利用者への支援 ・認定こども園における預かり保育事業利用者への支援 ・私立幼稚園教育振興費補助の実施 ・幼稚園の施設型給付園への移行
(2) 教育と保育の連携促進【再掲】	・幼稚園教諭・保育所保育士合同研修（中止） ・幼稚園・保育所連携促進事業 ・幼・保・小連携研修交流（中止）

2 実績に対する考え方

幼稚園や認定こども園において、受入枠の確保や保護者の一時的な保育のニーズに対応するなど、経済的な支援を含めて子育てに関する様々な取り組みを進めています。 また、中学校区域内の幼稚園や保育所、小学校の職員が集まる情報交換の場や、学校職員へ電話連絡するなどして、新入学児童となる年長児の小学校への引き継ぎを行うなど、教育活動の円滑な接続にも取り組んでいます。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅲ 子どもや子育て家庭をみんなで支える	担当課	こども課、子育て支援課 学校教育指導課、学校地域連携課
	基本施策	3 子育てを地域で支える仕組みづくりの推進		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 地域で支える仕組みづくりの推進	・ファミリーサポートセンター事業の実施（会員数818人、援助活動件数2,167件）
(2) 地域子育て支援センター等の機能の推進【再掲】	・地域子育て支援センターの運営（施設数6箇所、利用件数25,597件） ・地域子育て支援センター支援事業（参加組数3,988組）
(3) 幼稚園や保育所、認定こども園での子育て支援	・あそびの広場事業の実施（124回、732組、1,566人） ・世代間交流（388人） ・小中高生の保育体験（中止）
(4) 子育て応援事業所の普及促進	・子育て応援事業所促進奨励金交付【再掲】 ・子育て応援事業所の制度周知【再掲】
(5) 子どもの居場所づくりの推進	・放課後子ども広場の開催（参加ボランティア数延べ3,494名、実施回数499回） ・居場所づくりに関わるボランティアの養成（参加者23人）

2 実績に対する考え方

保育所や幼稚園などを中心に、地域の子育て家庭が交流する場の提供などを通じて、地域で子育てを支え合う環境づくりを進めています。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後は事業を再開し、実施回数・参加人数も増加しています。ファミリーサポートセンター事業では、会員数が増えており、地域の取り組みが子育て世帯を支えています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅲ 子どもや子育て家庭をみんなで支える	担当課	地域福祉課、こども課、健康推進課 住宅営繕課、学校教育課
	基本施策	4 子育て家庭への経済的な支援		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 経済的な支援の実施	・ 児童手当、乳幼児等医療費助成 ・ 幼児教育・保育の無償化 ・ 市営住宅定期募集時における多子世帯の抽選番号加算 ・ 市営住宅定期募集時における小学校就学前の子どもがいる世帯の別枠募集 ・ 子育て世帯向け地域優良賃貸住宅の提供 ・ 就学援助（認定者数：小学校1,169人、中学校727人） ・ 奨学金・入学支度金貸付（大学生16人、専門学校生2人、高校生7人） ・ 妊婦健康診査の実施（受診者延10,633人） ・ 不妊治療費助成 （生殖補助医療費 申請者延5件、先進不妊治療費 申請者延146件） ・ 不育症治療費助成（0人） ・ 子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外776世帯） ・ 価格高騰重点支援給付金（7万円給付金・こども加算） ・ 出産・子育て応援給付金 ・ 新生児聴覚検査の助成（736件）

2 実績に対する考え方

子育て家庭への経済的支援については、児童手当や子育て世帯生活支援特別給付金、価格高騰重点支援給付金等の支給のほか、就学援助や奨学金貸付事業などを継続的にを行っています。 子ども医療費の助成については、所得制限の撤廃や対象年齢の中学生まで引き上げなど令和6年度からの拡充に向け、準備に取り組みました。また、妊娠期において妊婦健康診査を実施しているほか、特定不妊治療費助成では、43歳以上の方については、医療保険の適用はないため、市独自で行う事業の対象としています。 このほか、出産・子育て応援給付金事業では、すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産、子育てをできるよう伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援を一体として行っています。 市営住宅の募集の際には、子育て世帯に限定した募集や、多子世帯への当選確率を高める優遇措置を継続するとともに、子育て世帯向け地域優良賃貸住宅の提供を行い、子育て家庭への支援を進めています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅲ 子どもや子育て家庭をみんなで支える	担当課	こども課、住宅営繕課
	基本施策	5 ひとり親家庭への支援		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) ひとり親家庭への支援	・ 自立支援教育訓練給付金の支給（4件） ・ 高等職業訓練促進給付金等の支給（12件） ・ ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金の支給（1件） ・ 母子・父子自立支援員及び就業支援専門員の配置 ・ 母子家庭等就業・自立支援センター事業の実施
(2) 生活の支援	・ 児童扶養手当の支給（受給資格者1,875人） ・ ひとり親家庭等医療費の給付（53,501件） ・ ひとり親家庭の市営住宅申込優遇措置 ・ 母子家庭専用市営住宅の提供 ・ 母子家庭等日常生活支援（利用回数11件） ・ 子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯1,900世帯）

2 実績に対する考え方

母子・父子自立支援員や就業支援専門員による相談と、教育訓練給付金など各支援制度の実施のほか、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親子育て世帯に対し、子育て世帯生活支援特別給付金の支給を実施しました。 また、母子家庭等就業・自立支援センターと連携しながら、地域生活や養育費に関する専門的な相談を行っているほか、就業に関する相談や技能習得、就業情報提供まで一貫した就労支援サービスを提供することにより、正規雇用に向けた支援を行うなど、ひとり親家庭の自立を総合的に支援しています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅳ 子ども自らの健やかな成長を支援する	担当課	観光交流課、農政課、みどりの課、学校地域連携課、生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園、スポーツ課
	基本施策	1 子どもの体験活動の推進		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 体験活動機会の推進	・帯広市青少年育成者連絡協議会への支援 ・地域子ども会リーダー研修会（参加者126人） ・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（会員数7人） ・ジュニアリーダー“あるふあ”の会（会員数20人）・子ども王国の開催 ・帯広の森市民農園 学童農園（市内22団体・1,677人） ・帯広市農業技術センターの食育展示ほ場の見学受け入れ（小学校10校・496人） ・動物園体験事業（小学生の1日飼育係・親子で飼育体験等10回50人） ・国内姉妹都市子ども親善訪問団相互派遣事業（松崎町：派遣10人・受入10人、徳島市：派遣6人・受入6人、大分市：派遣6人・受入6人） ・国内姉妹都市とのオンライン交流（7回・488人参加） ・帯広の森・はぐくむでの環境学習による学校利用（78回・4,091人） ・親子陶芸教室（6回、187人）、親子ものづくり教室（26人）、4回連続講座「楽しくデッサン教室」（延90人）、つくってみよう縄文土器（34人）等の開催
(2) 児童会館機能の確保	・児童会館の利用者数（280,065人） ・「デジタル遊具コーナー」の開設 ・わくわくこどもまつり等（5回、7,203人）、科学教室・工作教室等（106回・7,113人）、文化関連事業（人形劇、将棋、囲碁、児童劇団、リアルジオラマ展等）（11,661人）、新規事業（宇宙飛行士パブリックビューイング41人、冬の夜空を見上げてみよう56人、鉄道模型展示4,054人、ポスター展3,392人等）、子育て支援事業もっくん教室（8回、170人）の開催、常設コーナー利用（科学展示室32,966人、プラネタリウム14,128人、遊び場139,618人等） ・宿泊学習等の実施（76校、2,686人）
(3) 文化・スポーツ活動の推進	・子ども向けの文化芸術鑑賞機会の提供(3事業3,625人) ・「ほっとドリームプロジェクト」の推進（延べ2,654人参加） ・小中学校の体育館等の地域への開放（265団体 延べ168,326人利用） ・社会体育施設の管理運営 ・フードバレーとかちマラソン（5,024人）
(4) 国際交流の推進	・高校生相互派遣事業（スワード市：派遣4人、朝陽市：派遣2人・受入3人） ・日韓スポーツ交流事業（アイスホッケー中止、バスケットボール派遣16人）

2 実績に対する考え方

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、新たな手法で事業を開催したことなどにより、参加者は大幅に増加しています。児童会館では、新たな遊具の導入や科学教室等の内容充実に取り組んだことにより、過去最多の利用者数となりました。

これらを勘案し、「順調に進捗している」と評価します。

施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	A
---------	--	---

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅳ 子ども自らの健やかな成長を支援する	担当課	地域福祉課、市民活動課 学校地域連携課 生涯学習文化課、児童会館
	基本施策	2 青少年の社会参加の支援		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 社会参加活動の支援	・20歳の集い（965人） ・地域福祉活動に対する支援 ・平和の作品の募集（181人、絵：83点、詩：99点） ・平和カレンダーの作成・配布（3,300部）
(2) ジュニアリーダーの養成	・地域子ども会リーダー研修会（参加者126人） ・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（会員数7人） ・ジュニアリーダー“あるふあ”の会（会員数20人）
(3) 自主活動の奨励	・帯広市農業青年団体連絡協議会の自主活動支援 ・帯広少年少女発明クラブ、帯広児童劇団

2 実績に対する考え方

20歳の集いについては、受付出入口を2カ所設けるなどの工夫によりスムーズな入館ができ、混乱することなく開催することができました。 平和の絵・詩の募集については、概ね例年どおりの応募がありました。 帯広少年少女発明クラブや帯広児童劇団などでは、コロナ禍前の活動に戻し、順調に活動することができました。これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B

令和5年度 基本施策の進捗状況

施策体系	基本目標	Ⅳ 子ども自らの健やかな成長を支援する	担当課	地域福祉課、学校地域連携課 南商業高校、生涯学習文化課
	基本施策	3 青少年の健全育成活動の推進		

1 施策の取組内容

主な施策の展開方向	令和5年度の主な実績
(1) 学校における育成活動の推進	・子ども・若者支援地域協議会の開催（代表者会議1回、実務者会議1回、個別ケース検討会議3回） ・南商インターンシップ事業（協力事業者 44事業者）
(2) 地域における育成活動の推進	・子ども・若者支援地域協議会の開催（代表者会議1回、実務者会議1回、個別ケース検討会議3回） ・青少年育成団体への支援 ・生涯学習情報誌「まなびや」の発行（6回） ・生涯学習指導者登録情報の更新（159人） ・帯広市PTA連合会への補助金支出、研究大会後援 ・帯広青年会議所への補助金支出、後援 ・学生の社会教育実習（地域活動への参画）の受入れ（24名、延べ24回） ・コミュニティ講座の開催（211講座、14,773人）

2 実績に対する考え方

帯広市子ども・若者支援地域協議会では、地域の関係機関が連携し、総合的に支援しています。 「非行防止、非行対策分野」及び「修学・就労、自立支援分野」毎に各機関・団体から選任された実務者で構成される実務者会議や、個別ケース検討会議では支援方策に関する協議や研修を実施しました。 南商インターンシップ事業では、管内44企業の協力を得て、「働くことの達成感・やりがい」など、身をもって体験できる貴重な時間をいただいています。インターンシップでの学びにより自分の適性や進路をしっかりと見極め、今後の進路活動に活かされています。 学生の社会教育実習受入れでは、大谷短期大学の学生が、子どもの居場所づくり事業やプラザまつり、キッズタウンにボランティアとして参加し、地域活動へ参画することができました。 生涯学習委員との協働により開催しているコミュニティ講座では、市民ニーズを踏まえた学習機会の提供や地域における世代間交流の場の提供に繋がっています。 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後は事業への参加人数も増加しています。 これらを勘案し、「概ね順調に進捗している」と評価します。		
施策の進捗状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C さらなる進捗が必要となっている	B